

# 日本会計史学会 第37回大会

2018年10月13日(土)～14日(日)

## 「管理会計と会計史」



日本大学経済学部



準備委員長 村田直樹 (日本大学)  
野口翔平 (日本大学)  
麻場勇佑 (駿河台大学)  
中川仁美 (作新学院大学)  
小川華代 (日本大学)

### 会場案内図



〒101-8360

東京都千代田区神田三崎町 1-3-2

日本大学 経済学部

14:00～14:55 野口翔平 (日本大学)

「イギリス産業革命期における割引現在価値による  
鉱山評価 —John Buddle, Jr.の視点から—」

15:00～15:55 麻場勇佑 (駿河台大学)

「投資利益率の機能と構造の相互関係の分析  
—20世紀初頭のDu Pont社を中心に—」

### 〈参加費・懇親会費のご案内〉

本大会の参加費、懇親会費は次の通りです。

- ①参加費 3,000円 (当日参加費: 4,000円)
- ②懇親会費 5,000円 (当日参加費: 6,000円)

1. 本大会にご参加の先生方は、同封の振込用紙を用いて、9月30日までにコンビニにてお振込みください。参加費と懇親会費、2種類の振込用紙を同封いたしておりますので、ご注意ください。なお、念のため、振込受領書(またはその写し)を大会当日にご持参くださいますようお願い申し上げます。
2. 参加取消によるご返金はご容赦くださいますようお願い申し上げます。
3. 大会会場には、駐車場を準備しておりません。お車でのご来場はご遠慮ください。
4. ご参加の先生方は、名刺をご持参の上、ご参加くださいますようよろしくお願い致します。

# ご挨拶

第 37 回の日本会計史学会全国大会を日本大学経済学部で、開催することになりました。日本大学経済学部は、37 年前、故中村萬次先生や故小島男佐夫先生が中心となって日本会計史学会を設立して、第 1 回の学会設立総会を行った場所でもあります。

当時の会計史研究は、簿記史が中心で、文献研究を中心としたものでした。この伝統から、日本の会計史研究は優れた簿記史の研究が現在でも多く見られます。このような研究潮流のためか、日本の会計研究は、財務会計の歴史的な研究が中心で、その水準は、世界的に見ても優れたものがあります。

しかし、英米の会計史研究は原価管理、原価計算、管理会計に関するものが多く、日本の会計史研究とは違った方向性が明確です。そこで今回の全国大会のテーマを「管理会計と会計史」としました。以前は管理会計史の優れた研究がありました。本日、基調講演いただく上総先生の研究もその一つです。今後の会計史研究のあり方を考える意味からも、会員の先生方の意見交換が有意義なものになるよう願っています。

日本会計史学会第 37 回大会  
準備委員長 村田直樹

# 大会プログラム

1 日目：10 月 13 日（土）

- 10：00～10：30 『年報』編集委員会  
7号館 14階レセプションルーム
- 10：30～11：30 学会賞審査委員会  
7号館 14階レセプションルーム
- 11：30～12：50 役員会  
7号館 14階レセプションルーム

参加者受付 12：00～18：00

7号館 1階

- 13：30～14：30 会員総会 7号館 2階講堂
- 14：45～16：15 基調講演 7号館 2階講堂

## 「管理会計史研究に新潮流を」

講演者：上総康行（京都大学名誉教授）

講演時間 14：45～15：45

質疑応答 15：45～16：15

司会：相川奈美（名城大学）

- 16：30～18：00 スタディグループ中間報告  
7号館 2階講堂

「FASB 及び IASB の概念フレームワーク  
についての歴史的考察」

報告メンバー：岩崎 勇（九州大学）  
梶田龍三（専修大学）

報告時間 16：30～17：30

質疑応答 17：30～18：00

司会：相川奈美（名城大学）

18：30～20：30 懇親会

本館地下 1 階

2 日目：10 月 14 日（日）

自由論題報告

7号館 2階講堂

司会：中村将人（中京大学）

10：00～10：55 小川華代（日本大学大学院）

「イギリス産業革命期の綿工場の会計  
による経営管理」

11：00～11：55 藤川晴基（広島経済大学）

「公益企業財産における公正価値の歴史的研究  
—わが国の昭和戦後以降期の文献を中心に—」

11：55～13：00 昼休憩

司会：澤登千恵（大阪産業大学）

13：00～13：55 橋本寿哉（大東文化大学）

「伊勢商人・長谷川治郎兵衛家の帳合法の  
発達過程に関する考察」